

調停事項の価額 〇〇〇, 〇〇〇 円  
 ちょう用印紙額 〇〇〇, 〇〇〇 円  
 予納郵便切手の額 2, 600 円

この各欄への記載方法は、裁判所にお尋ねください。

(□については、レ印を付したもの)

受付印

申立書は、裁判所用と相手方用として、正本、副本の2部を提出してください。相手方が複数の場合は相手方の数+1となります。

調 停 申 立 書  
 東京簡易裁判所 御 申 中

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

申立書を作成した日又は裁判所へ提出する日を書いてください。

申立人の住所・氏名・電話番号等

正本、副本ともに、あなたの認印(スタンプ式は不可。)を押してください。申立人が会社である場合は、代表者の印を押印します。

郵便番号 〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇

住 所 東京都墨田区〇〇4丁目〇〇番〇〇 〇〇アパート〇〇号室

氏 名 墨 田 太 郎 印

「送達場所」とは、裁判所からの郵便物を受け取る場所を指します。住所以外の場所で受け取ることを希望する場合は、「次のとおり」にチェックし、その場所を記載してください

送達場所  上記住所  次のとおり

電 話 〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

ファクシミリ 〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

あなたへの連絡先電話番号、ファクシミリ番号を書いてください。

相手方の住所・氏名

相手方の住所、氏名を書いてください。(相手方が会社であるときは、履歴事項全部証明書を見て、本店所在地、会社名、代表者の氏名を書いてください。)

郵便番号 〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇

住 所 東京都千代田区〇〇3丁目〇〇番〇〇

氏 名 甲 野 次 郎

申立書には、連続するページ数をか書いてください。

申立の趣旨

相手方は、申立人に対し、〇〇〇円を支払うこと

との調停を求める。

あなたが調停手続で、  
どのような解決を求める  
のか、その結論を簡潔に  
書いてください。

紛争の要点

1 申立人は、令和〇〇年〇〇月〇〇日ころ、地下鉄〇〇線〇〇駅1番ホーム上で、

申立人の持っていた鞆が相手方につかったことが原因で口論になり、相手方にいきなり突き飛ばされ、顔面や腰を負傷した。

2 その日は駅員になだめられ、お互いの連絡先を告げ帰宅したところ、頭や腰の

痛みがひどくなったので翌日病院に行ったところ、顔面打撲、腰椎捻挫等で加療2週間と診断された。

3 相手方に連絡し、治療費等を支払うように話したが、なかなか支払ってもら

ない。

4 申立人は、相手方に対し、治療費〇〇円、通院交通費〇〇円、慰謝料〇〇円の

合計〇〇円の支払いを求める。

あなたと相手方との間で、紛争となっている内容を、具体的かつ簡潔に書いてください。  
どのような事実経過があったのか、その結果、法的にどのような解決を求めるのかを書いてください。

申立書の添付資料を記載します。例示されている書面(証拠書類等)があれば該当の口にチェックしてください。  
例示がない場合は、空欄の口にチェックして、その書類の名称を記載してください。  
申立人又は相手方が会社の場合は、その会社の履歴事項全部証明書等を添付します。

添付書類

領収書 写し

診断書 写し